

平成26年度全国高等学校総合体育大会 東京都開催基本構想

1 目的

平成26年度全国高等学校総合体育大会開催基本方針に則り、平成26年度全国高等学校総合体育大会（以下「大会」という。）を契機に、高校生をはじめ、次代を担う子供たちに夢を与え、競技力の向上とスポーツ振興に資することを目的とする。

また、首都圏開催の利点を活かし、効率的かつ環境に配慮しながら、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしく、簡素な中にも参加者の心に残る企画・運営とする。

2 東京都開催の方向性

(1) 競技力の向上とスポーツの振興

ア 競技力の向上

東京都教育委員会の施策と連携させ、高校生及び次代を担う子供たちが、この大会を契機に、高校のスポーツ界を、いずれは日本のスポーツ界を牽引していく力を育ませる。

イ スポーツの振興

高校生最大のスポーツイベントを通じて、スポーツの魅力を広く都民へ発信することで、地域のスポーツ活動の活性化に寄与させていく。

(2) 連携・協働の強化

ア 新たなモデルの構築

四都県の共通理解のもと、協働作業を積極的に展開し、合同開催の新たなモデルとして確立させる。

イ 万全を期するための準備・運営

都民の理解を得るために、常に情報を発信し、組織面・財政面で見直しを絶えず行ない準備・運営にあたる。

(3) 高校生活動の展開

ア 大会運営参画

準備・企画・運営に積極的に参画させ、高校生による「する・観る・支える」スポーツ大会を作り上げる。

イ 一人一役活動の実践

この大会を支えることを学校の取組みとして位置づけ、全ての高校生が感動と達成感を味わえるよう、高校生の総力を結集させ、学校の教育活動の活性化に寄与する。

(4) 様々な交流を通じた地域の魅力発信

ア 高校生が交流を深め友情を育む機会

開催地の高校生を含め、全国から訪れる全ての高校生が、友情と親睦を深められるような様々な場面を提供する。

イ 競技会場等を拠点とした東京の魅力発信

地域の協力を得て、全国から訪れた人たちの思い出に残る大会となるよう開催地の魅力を紹介する。

(5) 効率的で人と環境に優しい大会運営

ア 既存施設の有効活用による効率化

総合開会式を含め、競技会場は、原則として既存の施設を利用する。

イ 高いパフォーマンスを発揮できる会場設定

全国から集まるトップアスリートたちが、その実力を思う存分に発揮できるスポーツ施設を設定する。

ウ 省エネや廃棄物の減量など環境負荷の低減

首都圏開催の利点を最大限活用し、効率的で効果的な大会運営に努めるとともに、熱中症予防・CO2削減・廃棄物の減量化などへの具体的な対策を示すことで人と環境に優しい大会を目指す。

3 大会の式典

(1) 総合開会式

ア 趣旨

高校生最大のスポーツ大会におけるオープニングを飾るにふさわしい、強い感銘を与えるものとする。

イ 開催日時

公益財団法人全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」という。）全国高等学校総合体育大会開催基準要項（以下「開催基準要項」という。）に則り、平成26年度全国総合体育大会東京都実行委員会（以下「実行委員会」という。）は全国高体連と綿密に検討を重ね決定する。

ウ 会場

開催基準要項に則り、実行委員会は、全国高体連と綿密に検討を重ね決定する。

エ 参加者（入場行進選手団）の範囲

会場までの距離、交通事情及び競技日程を勘案し、決定する。原則として、開式直後に開催する競技種目の選手、監督及び都道府県の役員とする。

オ 運営組織

東京都高等学校体育連盟を中心に東京都高等学校文化連盟等の協力を得て運営する。
なお、運営に当たっては、演出に関わる学校の協力を得る。

カ 式典の演出

(ア) 趣旨

平成26年度全国高等学校総合体育大会開催基本方針に基づき、若さと情熱にあふれる高校生のスポーツの祭典にふさわしく、かつ四都県の高校生たちが、合同開催の特色である「協働と融合」を表現できる企画・運営をする。

(イ) 公開演技の基本的な考え方

四都県の歴史と伝統を融合させた躍動感にあふれる内容を中心に、大会スローガンの趣旨を十分活かすとともに、手具や服装にも創意工夫し、都民・県民に夢と希望を与えるように演出する。

(ウ) 式典音楽の基本的な考え方

高校生の豊かな感性を演奏や合唱により表現し、特に四都県にゆかりのある楽曲を中

心に構成する。

(エ) 式典放送の基本的な考え方

高校生が、明るくはつらつとしたアナウンスにより、式全体を円滑に進行させ、演出する。

(オ) 草花装飾の基本的な考え方

各装飾場所の条件や機能を十分に考慮し、全国から訪れた多くの方々に歓迎の意を表すように工夫する。装飾する草花については、式典専門委員会の計画のもと、色、デザイン、景観などを配慮する。

(2) 競技別開会式及び閉会式

開催基準要項に則り、競技会場及び競技時間に応じて規模等を柔軟に検討する。

4 準備・運営体制

都における大会準備・運営のため、準備委員会を経て実行委員会を設置する。

実行委員会の下部組織として専門委員会を設置し、必要に応じて専門委員会の下部組織として小委員会を設ける。

なお、実行委員会における専門委員会の設置について、実行委員会の審議結果等を踏まえて別途定める。

5 大会日程

開催基準要項に則り、大会日程を定める。

6 競技種目別大会の運営

開催基準要項に則り、全国高体連各競技専門部と関係全国中央競技団体、開催地都道府県実行委員会とが、密接な連絡をとりながらこれにあたる。

7 経 費

開催基準要項に則り、大会の準備及び運営のための経費は、国庫補助金、都補助金、全国高体連負担金、助成金、参加料及び協賛金等を充てる。